



3. 教育課程

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

本学の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」は文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されています。（認定の有効期限：令和 11 年 3 月 31 日まで）



プログラムの目的

数理・データサイエンス・AI への関心を高め、適切に理解し活用するための基礎的な能力を身に付け、今後の新たな社会（Society5.0）実現に必要なとされる人材を育成することを目的とします。

身に付けられる能力

- なぜ、数理・データサイエンス・AI を学ぶのか、理解する。
- 社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるのか、理解する。
- AI の得意なところ、苦手なところを理解し、人間中心の適切な判断ができる。
- 社会の実データ、実課題を適切に読み解き、判断できる。

など、これらを日常の生活、仕事等の現場に活かし、使いこなすことができる基礎的素養を身に付けることができます。

開講されている科目の構成

全学共通科目「データサイエンス」2 単位

授業の方法及び内容は科目のシラバスを参照してください。

全学共通科目について

「全学共通科目群」は、全学部で共通に開講する科目群であり、これらの科目を通して、共生（ともいき）と勤儉誠実の考え方、及び幅広い教養を身につけます。

有資格者の単位認定について

下記に掲げる資格を有する学生は、証明書を持参の上、履修登録開始日から履修確認・訂正最終日（15:00）までに教務課へ申し出てください。審議を経て、下記に準じた単位が認定されます。

授業科目名	単位数 (上限)	評価	認定基準
総合英語Ⅰ／総合英語Ⅱ／ 総合英語Ⅲ／ 英会話Ⅰ／英会話Ⅱ／英会話Ⅲ	2	認定	実用英語技能検定試験 2 級 TOEFL iBT 42 点以上 72 点未満 TOEIC L&R 550 点以上 785 点未満 TOEIC S&W 240 点以上 310 点未満
	4	認定	実用英語技能検定試験準 1 級 TOEFL iBT 72 点以上 95 点未満 TOEIC L&R 785 点以上 945 点未満 TOEIC S&W 310 点以上 360 点未満
	6	認定	実用英語技能検定試験 1 級 TOEFL iBT 95 点以上 TOEIC L&R 945 点以上 TOEIC S&W 360 点以上
中国語Ⅰ／中国語Ⅱ	2	認定	中国語検定試験 3 級以上
韓国語Ⅰ／韓国語Ⅱ	2	認定	韓国語能力試験 2 級以上
ポルトガル語	1	認定	外国語としてのポルトガル語検定試験 (APLE) 準初級以上 ブラジル教育省による外国人のためのポルト ガル語検定試験 (CELPE-Bras) 中級以上

- 注意
1. この制度の運用は内規により行います。
 2. 既に単位認定された科目についての申請は認めません。
 3. 英語部門は、既にこの制度による単位認定を受けた資格より上級の資格を取得した場合、再度申請することができます。ただし認定単位数の合計は上級の資格による単位数を上限とします。

経営学部科目について

以下の科目は履修登録や成績評価、授業の方法等について特徴のある科目です。履修登録前に十分な理解をしておいてください。

①「ビジネス教養Ⅰ～Ⅲ」

「ビジネス教養Ⅰ～Ⅲ」では、就職活動に必要な基礎知識・基礎学力などを身に付けます。

②「スチューデントスキル」

1年次春学期の「スチューデントスキル」は学籍番号によってクラス編成されます。「スチューデントスキル」は、大学での授業に必要なスタディスキル（読む・書く・話す・発表する・情報収集する等の能力）を高めることをねらいとし、共通の到達目標を設定して展開されます。また、本学の「建学の精神」および「教育の理念」の涵養も図ります。

③「基礎演習」

1年次秋学期の「基礎演習」は、自分の将来に対する意識を明確にし、春学期の「スチューデントスキル」で学んだ大学での勉強方法や研究に対する意欲を2年次からの「総合演習」へと繋ぐために、学生の希望により決定した演習担当教員の指導を受けます。演習担当教員の決定にはGPA（成績平均値）が考慮されます。

④「総合演習Ⅰ～Ⅱ」

「総合演習Ⅰ～Ⅱ」は、同一教員によって1年間指導を受けます。演習担当教員は1年次秋学期に学生の希望をもとにGPAを考慮して決定されます。

⑤「総合演習Ⅲ～Ⅴ」

「総合演習Ⅲ～Ⅴ」は、「卒業研究」とともに同一教員によって2年間指導を受けます。演習担当教員は2年次秋学期に学生が希望した教員と面談を行い、教員の総合的判断によって決定されます。

⑥「専門演習A～D」「課題探究A～D」

プログラム制と連動しており、研究や学問を深めたい学生のために、各々のプログラムに応じた専門演習が開講されています。意欲的に履修してください。

⑦有資格者の単位認定について

下記に掲げる資格を有する学生は、合格証明書（コピー不可）を持参の上、履修登録開始日から履修確認・訂正最終日（16:30）までに教務課へ申し出てください。審議を経て、下記に準じて単位が認定されます。

授 業 科 目 名	単位数	評価	認 定 基 準
会計セミナー（Ⅰ～Ⅱ）	4単位	認定	日商簿記検定3級合格
会計セミナー（Ⅰ～Ⅵ）	12単位	認定	日商簿記検定2級合格以上
情報処理A	2単位	認定	全国商業高等学校協会主催 「ビジネス文書実務検定試験」2級以上 日本商工会議所主催 「日商PC検定試験(文書作成)」2級以上 日本情報処理検定協会主催 「日本語ワープロ検定試験」2級以上
情報処理B	2単位	認定	全国商業高等学校協会主催 「情報処理検定(ビジネス情報部門)」2級以上 日本商工会議所主催 「日商PC検定試験(データ活用)」2級以上 日本情報処理検定協会主催 「情報処理技能検定試験(表計算とデータベース両方)」 2級以上 全日本情報学習振興協会主催 「パソコン技能検定Ⅱ種試験」2級以上

注1. すでに単位認定された科目についての申請は認めません。

2. 入学前の合格実績は、1年次または資格取得後1年以内に申請しなければなりません。

3. 会計の単位認定の上限は12単位までです。

プログラム制

カリキュラムは基本となる5つの専門コア領域の科目と1年次から開講する少人数制ゼミを中心に構成されています。2年次春学期からは、さまざまな職業を意識した「特別プログラム」により、卒業後の夢を実現させるために積極的なサポートをおこないます。一人ひとりの「望み」の達成と社会で即戦力として活躍できるよう、人間力アップをめざします。

(1) 専門コア領域

- 経営
- 流通・マーケティング
- 会計
- 経済・金融
- 法律・行政

(2) 特別プログラム

プログラム制はプログラム担当教員（プログラム・マネージャー）が学生を指導します。プログラムは複数の教員が担当し、具体的な進路・資格などにターゲットを絞り、その目標を実現するために学修をすすめていく「キャリア探求型」と、比較的幅広い領域をカバーし、実習や学外研修なども取り入れつつ、基礎的能力ならびに当該分野に対する感覚やマインドを養成していく「キャリア支援型」があります。各プログラムの詳細は、ガイダンス用資料を参照してください。

卒業要件

東海学園大学経営学部を卒業するためには、4年以上在学し、次の表に示す所定の単位数以上を修得しなければなりません。

▼経営学部経営学科（M126生）

科目群	授業科目区分	②各科目区分において卒業に必要な修得単位数	①各群において卒業に必要な修得単位数	③卒業に必要な修得単位数
全学共通科目群	ともいき人間教育	必修4単位	25単位以上	合計で124単位以上
	ともいき教養教育			
	ともいき実践教育			
	日 本 語			
	英 語	必修6単位		
	情 報	必修2単位		
	身 体 教 育			
	外国語コミュニケーション			
キ ャ リ ア 形 成	必修4単位			
専門科目群	基 礎 科 目	必修10単位		
	基幹科目	経 営	20単位以上	
		流通・マーケティング		
		会 計		
		経 済 ・ 金 融		
	展開科目	法 律 ・ 行 政	10単位以上	
		経 営		
		流通・マーケティング		
		会 計		
	応用科目	経 済 ・ 金 融		
		法 律 ・ 行 政		
		経 営		
		会 計		
教職教科専門科目	情 報			
	グローバルコミュニケーション			
	ス ポ ー ツ 経 営			
	ス ポ ー ツ 経 営			
演習科目群	必修16単位	16単位以上		
他学部授業科目 注1				
免許・資格関連科目群			※卒業要件に含まれません	

注1：他学部授業科目は10単位を上限として卒業要件に含めることができる。

①経営学部の教育課程は、全学共通科目群、専門科目群、演習科目群および免許・資格関連科目群によって構成されています。各科目群の中にはそれぞれ授業科目区分があり、さらにその区分の中に各科目が配置されています。

②卒業するためには、上記の表の②③④すべての単位数条件を満たす必要があります。修得が必

要な科目の詳細については、開講科目一覧表で確認してください。

- ③「免許・資格関連科目群」の単位は卒業要件には含まれません。
- ④1年間で履修登録できる単位数の上限は49単位です（「免許・資格関連科目群」は除く）。
- ⑤1年生のうちから卒業後の目標とする職業との関連を考慮し、チュードントスキル担当教員や演習担当教員のアドバイスをもとに、きちんと履修計画を立てて履修登録をしてください。

標準修得単位数

各学年終了時までには修得することが望ましい単位数の目標は以下の通りです。

以下のものはあくまで目安ですから、この単位数に満たなくても次の学年に進むことはできます。ただし、第4学年終了時までには124単位以上が必要です。無理なく卒業できるように、各学年終了時にこの程度の単位数は修得するようにしてください。

第1学年終了時：35単位以上

第2学年終了時（2年間の合計）：70単位以上

第3学年終了時（3年間の合計）：100単位以上

第4学年終了時（4年間の合計）：最低124単位以上

*上記の数値は各学年終了時における標準修得単位数です。この数値以上の単位修得をめざしてください。

*卒業には、合計の単位数だけでなく、必修科目が修得されていること、各科目区分ごとに決められた単位数が満たされていることが条件になります。

（注）就職活動等で必要な卒業見込証明書は、3学年終了時に90単位以上修得している学生に限り発行されます。

開講科目一覧表

《表の見方》 「形態」欄：L = 「講義」 P = 「実験」「実習」「実技」等 S = 「演習」

▼経営学部経営学科 (M126生)

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考	
				必修	選択	自由		
全 学 共 通 科 目	人と 間も 教い 育き	共生人間論Ⅰ(ブッダと法然)	L	1	2		} 必修4単位	
		共生人間論Ⅱ	L	3	2			
		共生人間論実習	P	2		1		
	と も い き 教 育		自然環境と共生	L	1		2	
			生物多様性と共生	L	1		2	
			生命の科学	L	1		2	
			生活と化学	L	1		2	
			栄養・食生活とSDGs	L	1		2	
			地球と災害	L	1		2	
			脱炭素社会	L	2		2	
			持続可能な開発目標(SDGs)と共生	L	1		2	
			暮らしと経済	L	1		2	
			現代社会と生活	L	1		2	
			社会福祉学の基礎	L	1		2	
			多文化共生	L	2		2	
			市民社会と政治	L	3		2	
			世界の文化	L	3		2	
			憲法と基本権	L	1		2	
			社会生活と法	L	2		2	
			日本の文化	L	1		2	
		哲学の基礎	L	1		2		
	倫理学の基礎	L	3		2			
	心のメカニズム	L	1		2			
	日本の歴史	L	1		2			
	世界の歴史	L	1		2			
	日本の文学	L	1		2			
	外国の文学	L	2		2			
と も い き 実 践 教 育		地域社会と共生 A	P	1		2		
		地域社会と共生 B	P	2		2		
		地域社会と共生 C	P	2		2		
		海外文化研修 A	P	1		1		
		海外文化研修 B	P	1		2		
		海外文化研修 C	P	1		4		
		海外文化研修 D	P	1		6		
		日本文化(書道)	P	1		1		
	日本文化(華道)	P	1		1			

授業科目 区 分	授業科目の名称	形態	開講 年次	単位数			備 考	
				必修	選択	自由		
全 学 共 通 科 目 群	日本語	日本語表現法 A (音声)	P	1		2		
		日本語表現法 B (文章)	P	1		2		
	英語	総合英語 I	L	1	1			} 必修 6 単位
		総合英語 II	L	1	1			
		総合英語 III	L	2	1			
		英会話 I	P	1	1			
		英会話 II	P	1	1			
		英会話 III	P	2	1			
	応用英語	P		3		1		
	情報	情報リテラシー A	P	1	1			} 必修 2 単位
		情報リテラシー B	P	1	1			
		データサイエンス	L	2		2		
		プログラミング	L	2		2		
	身体教育	健康と運動	L	1		2		
		スポーツ A	P	1		1		
		スポーツ B	P	1		1		
		スポーツ C	P	1		1		
	外国語 コミュニケーション	中国語 I	P	2		1		
中国語 II		P	2		1			
韓国語 I		P	2		1			
韓国語 II		P	2		1			
ポルトガル語		P	2		1			
キャリア 形成	キャリアデザイン I	P	1	2			} 必修 4 単位	
	キャリアデザイン II	P	1	2				
	キャリアデザイン III	P	2		2			
	実践キャリア教育	P	2		2			

授業科目 区 分	授業科目の名称	形態	開講 年次	単位数			備 考	
				必修	選択	自由		
専 門 科 目	基礎 科目	経営学入門	L	1	2		} 必修10単位	
		会計学入門	L	1	2			
		経済学入門	L	1	2			
		ビジネスベーシック	L	1	2			
		商学入門	L	1	2			
	基 幹 科 目	経 営	経営学総論	L	1		2	} 選択必修20単位以上
			企業論	L	2		2	
			経営戦略論	L	3		2	
			経営組織論	L	3		2	
		流 通・ マー ケティ ング	マーケティング論	L	1		2	
			マーチャンドライジング論	L	2		2	
			マーケティングリサーチ	L	3		2	
			流通システム論	L	3		2	
		会 計	簿記原理	L	1		2	
			会計原理	L	2		2	
			財務会計論	L	2		2	
			管理会計論	L	3		2	
		経 済・ 金融	経済学(国際経済を含む)	L	1		2	
			ミクロ経済学	L	2		2	
			マクロ経済学	L	2		2	
		法 律・ 行政	金融論	L	3		2	
			民法Ⅰ(総則・物権)	L	2		2	
			民法Ⅱ(債権)	L	2		2	
			会社法	L	2		2	
	展 開 科 目	経 営	行政学	L	2		2	
			人的資源管理論	L	2		2	
			組織行動論	L	2		2	
財務管理論			L	3		2		
生産システム論			L	3		2		
経営情報論			L	2		2		
経営情報システム論			L	2		2		
中小企業論			L	2		2		
ベンチャー企業論		L	2		2			
流 通・ マー ケティ ング		消費者行動論	L	2		2		
	ビジネスデータ分析	P	3		2			
広 告	論	L	2		2			

授業科目区	目分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
					必修	選択	自由	
専	展 開 科 目	財 務 諸 表 論	L	2		2		
		工 業 簿 記	L	2		2		
		原 価 計 算 論	L	2		2		
		経 済 政 策 論	L	3		2		
		金 融 機 関 論	L	3		2		
		税 法 I	L	2		2		
		税 法 II	L	2		2		
		商 法	L	2		2		
		労 働 法	L	3		2		
		門	応 用 科 目	ビ ジ ネ ス 教 養 I	P	2		
ビ ジ ネ ス 教 養 II	P			3		2		
ビ ジ ネ ス 教 養 III	P			3		2		
企 業 実 務 研 修	P			2		1		
会 計 セ ミ ナ ー I	P			1		2		
会 計 セ ミ ナ ー II	P			1		2		
会 計 セ ミ ナ ー III	P			2		2		
会 計 セ ミ ナ ー IV	P			2		2		
会 計 セ ミ ナ ー V	P			2		2		
会 計 セ ミ ナ ー VI	P			2		2		
群	教 職 教 科 専 門 科 目	情 報 処 理 A	P	1		2		
		情 報 処 理 B	P	1		2		
		情 報 処 理 C	P	2		2		
		情 報 ネットワーク演習	P	3		2		
		海 外 研 修 A	P	2		1		
		海 外 研 修 B	P	2		2		
		ス ポ ー ツ ビ ジ ネ ス 論	L	2		2		
		ス ポ ー ツ イ ベ ン ト 論	L	2		2		
		プ ロ ス ポ ー ツ 論	L	3		2		
		社 会 学	L	1		2		
地 誌	L	2		2				
法 律 学 (国際法を含む)	L	1		2				
政 治 学 (国際政治を含む)	L	3		2				
自 然 地 理 学	L	3		2				
人 文 地 理 学	L	3		2				

授業科目 区 分	授業科目の名称	形態	開講 年次	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
演 習 科 目 群	スチューデントスキル	S	1	2			} 必修16単位
	基礎演習	S	1	2			
	総合演習Ⅰ	S	2	2			
	総合演習Ⅱ	S	2	2			
	総合演習Ⅲ	S	3	2			
	総合演習Ⅳ	S	3	2			
	総合演習Ⅴ	S	4	2			
	卒業研究	S	4	2			
	専門演習A	P	2		2		
	専門演習B	P	2		2		
	専門演習C	P	3		2		
	専門演習D	P	3		2		
	課題探究A	P	2		2		
	課題探究B	P	2		2		
課題探究C	P	3		2			
課題探究D	P	3		2			
免 許 ・ 資 格 関 連 科 目 群	教育原理	L	1			2	
	教職概論	L	1			2	
	教育制度論	L	2			2	
	教育心理学	L	2			2	
	特別支援教育	L	2			1	
	教育課程論	L	2			2	
	道徳理論と指導法	L	3			2	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	L	2			2	
	教育方法・技術論(ICT活用を含む)	L	2			2	
	生徒指導論(進路指導を含む)	L	3			2	
	教育相談	L	2			2	
	教育実習指導〔中・高〕	P	3~4			1	
	教育実習〔中学校〕	P	4			4	
	教育実習〔高校〕	P	4			2	
	教職実践演習〔中・高〕	P	4			2	
	社会科・公民科指導法Ⅰ	L	2			2	
	社会科・公民科指導法Ⅱ	L	2			2	
	社会科・公民科指導法Ⅲ	L	3			2	
	社会科・公民科指導法Ⅳ	L	3			2	
	商業科指導法Ⅰ	L	3			2	
商業科指導法Ⅱ	L	3			2		
職業指導Ⅰ	L	2			2		
職業指導Ⅱ	L	2			2		